

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2025年度	2年GD専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	adobe検定	三浦英介	1単位 28.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>デザイナーが必須としているアドビ社のアプリケーションツール、イラストレーター、フォトショップの能力検定対策講座。PC操作と検定試験の過去問題を解説し傾向と対策を行う。サーティファイ検定試験(スタンダード)の合格率向上を目指すと共に、就職活動に向けた意識向上をはかる。</p>			
【講義概要】			
<p>試験内容の概要。アドビCCのログインと書体アクティベート設定。アプリケーションの基本操作とツール解説を行いながら、問題集「模擬問題-1」から「模擬問題-3」までの「実技・実践」のポイントを説明する。また就職に向けての最低限必要なデザイン・スキルを身につける。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	17	就職対策講座
2	イラストレーター能力検定対策講座	18	就職対策講座
3	基本操作とツール解説	19	総括
4	フォトショップ能力検定対策講座		
5	基本操作とツール解説		
6	PC操作と検定試験の過去問題解説		
7	模擬問題-1解説		
8	模擬問題-1実技・実践		
9	模擬問題-2解説		
10	模擬問題-2実技・実践		
11	模擬問題-3解説		
12	模擬問題-3実技・実践		
13	サーティファイ検定試験(スタンダード)模擬試験		
14	サーティファイ検定試験(スタンダード)模擬試験		
15	就職対策講座		
16	就職対策講座		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1993年から映像制作会社にてキャリアをスタートする。デザイナーとしてクリエイティブ分野に携わったのち、フリーランスを経て、現在はアマテラス代表。オーストラリアのゴールドコーストを中心に異文化教育の指導。アニメ制作会社タイフーン・グラフィックスの立ち上げから参加している。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3年制)	2025年度	2年GD専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	メディアデザイン基礎	高林直俊	2単位 48時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
各メディアの特徴・特性を理解します。また実践的なクライアントワークを通して、自分のスキルや現状の立ち位置を把握します。また課題からプレゼンテーションまで、実践的にリアリティーを持って取り組みます。			
【講義概要】			
各メディアの特性や相互関係などを把握し、クライアントワークに取り掛かる前のベースを学びます。また課題からプレゼンテーションまで、実践的にリアリティーを持って取り組みます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション(課題発表)		
2	アーティストライブ		
3	デザインの取り組み方 & ラフ制作スタート		
4	ラフアイデア制作 & チェック		
5	ラフアイデアチェック		
6	ブラッシュアップ		
7	レコード店見学		
8	制作進行 & 進行チェック		
9	制作進行 & 進行チェック		
10	制作進行 & 進行チェック		
11	制作進行 & 進行チェック		
12	プレゼンテーション		
13	課題作品鑑賞と夏課題・夏明け授業説明		
14	SNS展開力		
15	制作進行 & 進行チェック		
16	SNS用 作品提出		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1978年東京都生まれ。2001年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業。井上デザイン事務所・カワムラビデオアクティビティを経て2008年に独立。音楽関連の仕事を中心にCD・レコード・アーティストグッズなどを手掛る。また音楽イベント・写真展・美術館企画展などのアートディレクションなども多数手掛ける。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2025年度	2年GD専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	WEBデザイン	秋山カズオ 中須賀美和子	2単位 45時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
WEBサイトを知識と実習で理解します。WEB用語の習得やWEBデザインの内容、最新のトレンドなど生活の一部となったWEBサイトを理解するとともに、伝わる表現や使いやすいWEBデザインの習得を目標とします。			
【講義概要】			
WEBを利用したマーケティングやコミュニケーションは今や日常生活には欠かせないものになっています。最新のWEBのトレンドやルールを知識として学習するだけでなく、背景にある想いやメッセージを理解する力を育みます。最終的にはWEBサイトの制作を行い、実践的なスキルの習得を目指します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	WEBのお話		
2	言葉で学ぶWEBの世界！		
3	社会はWEBで溢れている！		
4	WEBサイトデザイン制作・模写1		
5	WEBサイトデザイン制作・模写2		
6	WEBサイトデザイン制作1		
7	WEBサイトデザイン制作2		
8	WEBサイトデザイン制作3		
9	WEBサイトデザイン制作4		
10	WEBサイトデザイン制作5		
11	WEBサイトデザイン制作6		
12	WEBサイトデザイン制作7		
13	WEBサイトデザイン制作8		
14	WEBサイトデザイン制作9		
15	講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
<p>秋山 カズオ:1970年香川県生まれ。株式会社DELUXE設立。クリエイティブディレクター。コミュニケーションディレクター。ブランディング、WEBプロモーション、パッケージ、CI/VI、広告制作。東京TDC正会員。日本BtoB広告賞金賞、日本パッケージデザイン大賞。</p> <p>中須賀美和子:1979年愛知県生まれ。名古屋芸術大学美術学部デザイン学科卒業。レシップ株式会社デザイン室勤務を経て株式会社DELUXEに入社。ウェンディーズ・ファーストキッチン、L' OCCITANE、ROLA×REBECCA MINKOFF、Cafe de Miki with Hello Kitty、キャラクター制作・監修にふなっしー、ガチャピン・ムック、うえたんなど。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2025年度	2年GD専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ブックデザインA	佐野 洵	2単位 39時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
InDesignの操作を習得して、文字組みの基本を学習します。使用する紙のことまで考えて、本が1冊どのようにしてできあがるのかを学習します。			
【講義概要】			
四六判の本のカバーまわり(カバー、オビ、表紙、見返し、別丁とびら)と本文(とびら、目次、本文、略歴、奥付)のデザイン一式を実習します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作		
3	制作		
4	カバーデザインラフ案		
5	制作		
6	制作		
7	制作		
8	本文デザイン		
9	制作		
10	制作		
11	カバーまわりデザイン試作チェック		
12	カバー・本文デザイン案		
13	講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1987年生まれ。2014年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業。デザイナー。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2025年度	2年GD専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	エディトリアルデザイン	奥定泰之	2単位 48時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
「読むこと／見ること」をどうデザインでコントロールするかを意識しながら、InDesignを自由に使いこなし、エディトリアル作品を制作する。また実際の制作現場に対応できるような、本の素材や構造、印刷方法なども身につける。			
【講義概要】			
InDesignというアプリケーションを使って、レイアウト、素材、構造などを意識しながら、冊子形式のエディトリアル作品を試作する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	InDesignとは何か		
3	書籍のデザイン1		
4	書籍のデザイン2		
5	書籍のデザイン3		
6	雑誌のデザイン1		
7	雑誌のデザイン2		
8	雑誌のデザイン3		
9	雑誌のデザイン4		
10	作品制作のミーティング		
11	作品制作		
12	作品制作		
13	作品制作		
14	作品制作		
15	作品制作		
16	仕上げ・講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1970年愛媛県生まれ。グラフィックデザイナー。株式会社オクサダデザイン代表。主に書籍や雑誌のデザインを手がける。第40回、46回造本装幀コンクール入賞。第2回竹尾賞優秀賞。共著に『感性と社会』(論創社)、『近代デザイン史』(武蔵野美術大学出版局)。JAGDA会員。早稲田大学非常勤講師。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3年制)	2025年度	2年GD専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ポートフォリオA	白川桃子	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>ポートフォリオ制作を通して、自身のクリエイティビティを発揮した上でブランディング構築をしたり、仕事に対する意識を高めたりと、将来のキャリア形成に役立てることを目標とします。ポートフォリオに完成はなく、日々アップデートしていくものです。いきなり100点は目指さずに、まずは手を動かしてつくってみることからはじめましょう。</p>			
【講義概要】			
<p>「伝わるポートフォリオづくり」 就職活動時に必要なポートフォリオにおける、基本から実制作までステップを経て進めていきます。基本では、そもそもポートフォリオをつくる目的や、自己分析、業界理解、制作プロセス・ポイントなどを学びます。実制作では個別のフィードバックを通して一緒に相談しながらポートフォリオをつくりあげ、自身の今後につなげていきましょう。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション／ポートフォリオの「目的や役割」		
2	ポートフォリオの「構成とテーマ」		
3	ポートフォリオの「デザインとレイアウト」		
4	ポートフォリオ制作・個別フィードバック		
5	ポートフォリオ制作・個別フィードバック		
6	ポートフォリオ制作・個別フィードバック		
7	ポートフォリオ制作・個別フィードバック		
8	ポートフォリオ制作・個別フィードバック		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>静岡大学教育学部卒業。2009年株式会社コンセント入社。企業の広告プロモーション、コミュニケーション支援などメディア問わず幅広くアートディレクション・デザインを手掛ける。編著に、企画編集・デザインを自身で行った『たのしく、イラストディレクション!』(株式会社ビー・エヌ・エヌ)がある。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3 年制)	2025年度	2年GD専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	デザインプロセス	松蔭浩之	1単位 30時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>一年次のPC実習の履修度の確認と、さらなるスキルアップをはかる。デジタルカメラ撮影法とあわせ、Adobe社のイラストレータとフォトショップを駆使し、デザインワークの領域を拡大する。後半は「セルフポートレート」を使用したCDジャケット制作に取り組む。</p>			
【講義概要】			
<p>「写真」を使った「CDジャケット」のデザインと、DTP印刷納品までのプロセスを享受。講義とワークショップを毎回繰り返しながら、CDというフォーマットで作品を完成させる。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション 課題提示		
2	イラレ1		
3	イラレ2		
4	イラレ3		
5	フォトショ1		
6	フォトショ2		
7	フォトショ3		
8	デジカメ講座		
9	CDジャケット(ディレクション)		
10	フォトシューティング A		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1965年福岡県生まれ。1988年大阪芸術大学写真学科卒業。現代美術家。写真、グラフィック、空間デザインなど多岐にわたって活動。ヴェネツィアビエンナーレ、シンガポールビエンナーレ出展。『昭和40年会』会長。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3 年制)	2025年度	2年GD専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	写真と撮影	藤谷勝志	1単位 30時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
デジタル一眼レフカメラをオート撮影だけでなく、マニュアル撮影でも使えるようにします。JPEGとTIFFの違い、RAWデータについて理解してもらいます。聞き慣れない言葉が多いかと思いますが、最後は写真の面白さを知り、写真好きになります。			
【講義概要】			
カメラの種類、カメラの基本的構造、レンズの種類、特性を知ってもらいその使い方を理解していただきます。iPhoneはなぜ押すだけで写真が撮れるのか、オート撮影とマニュアル撮影の違い、そして使い方をカメラを手にして教えます。カメラ操作が理解できたら写真を撮る上で最も大切な「光」について説明します。実際に外での撮影と代々木にある僕のスタジオで撮影実習を行います。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	カメラの種類、構造、使い方の説明		
3	ヒカリについての講義		
4	スタジオ実習		
5	スタジオ実習		
6	スタジオ実習		
7	スタジオ実習		
8	スタジオ実習		
9	スタジオ実習		
10	講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1959年、秋田県生まれ。東京工芸大学写真技術科中退。写真家細谷秀樹氏に師事後、(有)藤谷勝志写真事務所設立。ファッション、ビューティー、ポートレート撮影を主に雑誌、広告写真を中心に活動。2004年渋谷区千駄ヶ谷に「studio flower」設立。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2025年度	2年IL専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	商品企画・デザイン	株式会社サンシャインエンタプライズ	1単位 18時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<ul style="list-style-type: none">・発想力を養う・マーケティングの基礎や商品製作のプロセスを知る・商品を販売するにあたっての原価・売価・利益などのお金の流れを理解する			
【講義概要】			
池袋・サンシャインシティ内にあるアミューズメント施設、「サンシャイン水族館」の商品開発を通してアイデア出しやデザインだけでなく、販売に至るまでの必要なプロセスを学びます。主にグループワークを中心として、実際に店舗や水族館を見学しながら、最終的に商品企画をグループ毎にプレゼンテーションします。アイデア力や実現可能性次第では、実際に水族館店舗での販売も検討します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	課外授業		
3	授業/グループワーク		
4	課外授業		
5	授業/グループワーク		
6	プレゼンテーション・講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3年制)	2025年度	2年GD専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ロゴデザイン	宮村泰朗	1単位 21時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
グループワークで体験したフィールドワーク、リサーチ、企画、考え方を活かし、デザイン～モックアップに起こすことでよりリアルなクライアントワークを意識した作品制作を目指します。			
【講義概要】			
サンシャイン水族館の商品企画課題を引き継ぎながら、今回は個人ワークとなります。グループワークで企画した商品を元に、個人個人が考える商品をデザインに起こし、モックアップ制作まで行います。商品及び商品を入れるパッケージまでを制作。各自の作品撮影も行います。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、課題説明		
2	アイデアチェック		
3	制作指導		
4	進捗プレゼンテーション		
5	ブラッシュアップ確認		
6	制作及び撮影		
7	講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3年制)	2025年度	2年GD専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	パッケージデザイン	田中北斗	1単位 9時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>世の中にある様々なパッケージデザインを考察し、リランディング 及びパッケージデザインのリニューアルに挑戦します。リニューアルへむけた商品の企画(ターゲット再考、コンセプトの立案)、パッケージデザイン、構造の再検討など既存の商品パッケージを題材に、幅広い知識やデザインスキル(グラフィック及びプロダクトデザイン)を学びます。</p>			
【講義概要】			
<p>授業前半で、課外授業を実施。印刷博物館で開催される「現代日本のパッケージ2025展」を訪れ、日本三大パッケージコンペティションでの入賞・受賞作品より、プロのアイデアやデザインを考察します。その後、各自、リニューアルの題材となる商品パッケージを決め、リニューアルコンセプト～デザインを制作。モックアップ(パッケージダミーの工作)と企画書を制作し提出します。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、課題説明		
2	課外授業		
3	講評		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1971年東京都生まれ。1994年創形美術学校グラフィックデザイン科卒業。1995年同校研究科修了。2002年ホクトデザインルーム設立。 企業や店舗のブランディング、グラフィックデザイン、WEBディレクションなどを中心に活動。豊島区のイベントプロデューサーも手掛ける。東京都中小企業支援専門家(デザインコンサルティング)</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2025年度	2年GD専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	豊島区広報映像制作	大久保榛菜 岡山拓史	4単位 66時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>写真＝レンズによる描写の基本を学ぶ。動画という表現の構成を学ぶ。調査した情報を視聴者にとって興味のある有益な情報に変容させるかを学ぶ。自らの企画をプレゼンテーションし、他者に企画意図を伝えることを学ぶ。出来上がった作品についてプレゼンテーションし、企画意図などを伝えることを学ぶ。</p>			
【講義概要】			
<p>映像表現の一つの基礎である写真を学び、動画制作につなげます。課題は、豊島区広報課をクライアントに、豊島区に取材した動画作品を制作します。撮影技法に始まり、企画立案、調査、ロケーションハンティング、シナリオ制作、絵コンテ制作、撮影、編集を経て作品を完成させます。完成した作品は、豊島区のケーブルテレビで放送の予定です。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	撮影
2	カメラワーク1	19	撮影
3	カメラワーク2	20	編集作業
4	カメラワーク3	21	編集作業
5	カメラワーク4	22	講評会
6	企画オリエンテーション		
7	ロケーションハンティング		
8	企画制作1		
9	企画制作2		
10	企画書・絵コンテ作成		
11	企画書・絵コンテ作成		
12	企画書・絵コンテ作成		
13	学内プレゼンテーション		
14	クライアントプレゼンテーション		
15	企画修正		
16	撮影準備		
17	撮影		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>大久保榛菜:2001年生まれ。2023年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業。2023年(株)東映エージェンシーにて東映キャリアワンの派遣社員として登録。(株)アマゾンラテルナにて派遣社員として就業。(株)アマゾンラテルナ 派遣期間満了のため退職。映像制作会社に正社員として就業。 岡山拓史:1980年神奈川県生まれ。東京デザイン専門学校卒業。スペースシャワーTVの映像制作部門「SEP」、デザイン事務所「FU TO NE」を経て2016年独立。グラフィック、ムービー、ウェブなどジャンルを問わずデザイナー／アートディレクターとして活動中。JAGDA正会員</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3年制)	2025年度	2年GD専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	池袋ブランディング	田中北斗	1単位 9時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
グループワークで体験したフィールドワーク、リサーチ、企画、考え方を活かし、デザイン～モックアップに起こすことでよりリアルなクライアントワークを意識した作品制作を目指します。			
【講義概要】			
サンシャイン水族館の商品企画課題を引き継ぎながら、今回は個人ワークとなります。グループワークで企画した商品を元に、個人個人が考える商品をデザインに起こし、モックアップ制作まで行います。商品及び商品を入れるパッケージまでを制作。各自の作品撮影も行います。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、課題説明		
2	アイデアチェック		
3	講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1971年東京都生まれ。1994年創形美術学校グラフィックデザイン科卒業。1995年同校研究科修了。2002年ホクトデザインルーム設立。 企業や店舗のブランディング、グラフィックデザイン、WEBディレクションなどを中心に活動。豊島区のイベントプロデューサーも手掛ける。東京都中小企業支援専門家(デザインコンサルティング)			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3年制)	2025年度	2年GD専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ポスターデザイン	草谷隆文	2単位 75時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>今まで学んだテーマから、タイポグラフィを主体としたポスター作り。B1の大型ポスターを作る事により、文字のディティールを追求、研究する。</p>			
【講義概要】			
<p>各自、漢字、カタカナ、ひらがな、アルファベットを1文字選び、文字の持つディティールを研究しつつ、ファインアートを取り込んだポスター作品を制作。指導者も同時に制作し、おのおのディスカッションをして進めていく。企画のたて方や進め方は授業の中で説明。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	第一回案の発表 修正のアドバイス	18	制作
2	制作	19	制作
3	修正を持参、各自チェック、アドバイス	20	制作
4	制作	21	最終チェック
5	制作までのプロセス決定	22	制作
6	制作	23	制作
7	制作	24	制作
8	制作	25	授業開始までに作品完成。講評
9	制作		
10	制作チェック		
11	制作		
12	制作		
13	制作		
14	制作		
15	制作		
16	制作&アドバイス、以下出力へ		
17	制作		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p>			
<p>1963年静岡県生まれ。1985年玉川大学文学部教育学科教育哲学専攻卒業。1989年廣村デザイン事務所入社。1996年有限会社草谷デザイン事務所設立。「入選/受賞歴」1994年準朝日広告賞。1995年JAGDA新人賞。2001年グッドデザイン賞部門賞。2008年準朝日広告賞。2009年朝日広告賞グランプリ。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3 年制)	2025年度	2年GD専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	パッケージデザイン &セー ルスプロモーション	岩谷昇 藤本陽	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
パッケージデザインの授業では購入者ターゲットを明確に決め、ブランディングやターゲットに有効な訴求をすることが目的です。また、セールスプロモーションの授業では先にデザインしたパッケージ(商品)の特徴を魅力的にアピールし、購買意欲を喚起させるツールを制作するのが目的です。			
【講義概要】			
1.デザインするパッケージ商品を決める。 2.ペルソナ(購入者ターゲット)を設定する。 3.売場を設定する(学校外への視察も検討) 4.パッケージデザイン & セールスプロモーションのイメージ制作。 5.パッケージモックアップ制作 6.パッケージモックアップ撮影			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、課題説明		
2	パッケージ企画制作		
3	企画プレゼン		
4	パッケージ制作		
5	講評、個別指導		
6	セールス企画会議		
7	プロモーションツール制作		
8	プレゼンテーション、講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 岩谷昇:1973年生まれ。株式会社ライズ・グラフィクス代表取締役 アートディレクター。広告やセールスプロモーション、ブランディングやCI・VIなどの企画立案とデザイン業務で活動中。 藤本陽:1983年東京生まれ。2004年有限会社ティーツー(入社)。スタジオでの百貨店とアパレルの服飾・宝飾・食品とモデルの写真撮影が主で、雑誌等の出張撮影も行う。2012年AFART設立(独立)。2017年千葉デザイナー学院(非常勤講師)。2024年有限会社ティーツー(代表取締役)。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2025年度	2年GD専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	広告デザイン基礎	近藤 忠	2単位 75時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
課題をとおり、広告表現の面白さと発想と技術を学ぶ。			
【講義概要】			
<ul style="list-style-type: none"> ●課題①:コピーを考える(授業内完結) ●課題②:ビジュアルにコピーを付ける(授業内完結) ●課題③:公共広告を制作する(ラフ提出→講評→完成物提出→プレゼン→講評) 			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	制作
2	課題①制作	19	制作
3	制作	20	制作
4	課題①制作チェック	21	最終チェック
5	制作	22	ブラッシュアップ
6	課題②制作	23	ブラッシュアップ
7	制作	24	ブラッシュアップ
8	制作	25	プレゼン、講評
9	課題②制作チェック		
10	制作		
11	課題③制作		
12	制作		
13	制作		
14	課題③制作チェック		
15	制作		
16	制作		
17	課題④制作チェック		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1958年新潟市生まれ。武蔵野美術短大専攻科卒。1990年近藤忠デザイン事務所設立。和光大学芸術学科特任教授。毎日広告デザイン賞/公共広告の部・最高賞、毎日広告デザイン賞/広告主参加の部・最高賞、東京ADC賞、等受賞。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3年制)	2025年度	2年GD専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ブランディング	田中北斗	2単位 75時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
ブランド全体のデザイン、ディレクション力、プロデュースを経験し、企画～デザイン制作を総合的に行い幅広いスキルを身につける。			
【講義概要】			
架空の店舗(ブランド)の総合プロデュース。店舗業態の企画構想、各種デザイン 及びプロモーション計画までを提案。 ①世の中の店舗やブランドを検証 ②ブランディングの構築 ③各種グラフィックデザイン制作 ④モックアップ(パッケージのダミーなど)制作 ⑤企画書の制作、プレゼンテーションの実施			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、課題説明	18	モックアップ制作
2	企画アイデア	19	モックアップ制作
3	企画アイデア	20	モックアップ制作
4	企画アイデア	21	モックアップ制作
5	情報収集	22	モックアップ制作
6	情報収集	23	画書の制作
7	情報収集	24	画書の制作
8	ブランディングの構築	25	プレゼンテーション、講評
9	ブランディングの構築		
10	ブランディングの構築		
11	各種グラフィックデザイン制作		
12	各種グラフィックデザイン制作		
13	各種グラフィックデザイン制作		
14	各種グラフィックデザイン制作		
15	各種グラフィックデザイン制作		
16	各種グラフィックデザイン制作		
17	モックアップ制作		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1971年東京都生まれ。1994年創形美術学校グラフィックデザイン科卒業。1995年同校研究科修了。2002年ホクトデザインルーム設立。 企業や店舗のブランディング、グラフィックデザイン、WEBディレクションなどを中心に活動。豊島区のイベントプロデューサーも手掛ける。東京都中小企業支援専門家(デザインコンサルティング)			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2025年度	2年GD専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	アートディレクション	大石恵美子	2単位 81時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
アートディレクションの根幹である「ビジュアルでコミュニケーションをする」ための3つの基本的な力を養います。①柔軟な発想力 ②幅広い表現力(得意な技法を極め、不得意・未知の分野に挑戦する)③物量を克服する持久力と執着心			
【講義概要】			
1つのテーマから100種類のビジュアルを作ります。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	制作
2	テーマ発表	19	制作
3	制作	20	制作
4	制作	21	制作
5	制作	22	経過チェック
6	制作	23	制作
7	経過チェック	24	制作
8	制作	25	最終チェック
9	制作	26	ブラッシュアップ
10	経過チェック	27	プレゼン・講評
11	制作		
12	制作		
13	経過チェック		
14	制作		
15	制作		
16	経過チェック		
17	制作		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
アートディレクター。1987年東京藝術大学卒業。1989年同大学院デザイン科修了。株式会社電通入社。ニューヨークA DC、ニューヨークフェスティバル、クリオ賞、カンヌ広告賞、他受賞多数。『新アートディレクター入門』編集、『プロモーションとアートディレクション』執筆。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2025年度	2年GD専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	リソグラフ実習	秋山怜美	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
リソグラフ印刷の仕組みや特性を理解し、実践的な制作を通じて印刷表現の可能性を学びます。一緒に印刷手法を活かした自分なりの表現方法の幅を増やしましょう。			
【講義概要】			
製版から印刷、製本までを体験しながら、リソグラフならではの色やズレを楽しみながら、作品制作に取り組みます。ZINEなどの印刷物制作も行います。最終的に増刷などを行い、展示や販売に向け作品を作ります。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	リソグラフ印刷機説明		
3	原稿制作		
4	原稿制作		
5	原稿制作		
6	製版、試し刷り		
7	本刷り		
8	講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
<p>1999年 長野生まれ。2022年 多摩美術大学情報デザイン学科情報デザインコース卒業。フリーランスデザイナー・イラストレーターとして活動開始。2023年4月から武蔵野学芸専門学校非常勤講師 グラフィック・イラスト担当。リソグラフィスタジオ studio lemondeにて印刷オペレーターとして勤務。会社都合により退職。 2021年～ 東京のアートブック/zineイベントに出展。saint ceremony @原宿デザインギャラリー(2人合同展示)。2024年taipei art book fair。DESIGNFESTA。NEVER MIND BOOKS。札幌テレビ塔。dragon art book day @bonus track。2025年 Snake Artbook Day @渋谷ヒカリエ。ILLUSTRATION 2025 イラストレーターJEMIとして掲載。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2025年度	2年GD専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ブックデザインB	田中北斗	3単位 72時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
InDesignの操作を習得して、文字組みの基本を学習します。使用する紙のことまで考えて、本が1冊どのようにしてできあがるのかを学習します。			
【講義概要】			
四六判の本のカバーまわり(カバー、オビ、表紙、見返し、別丁とびら)と本文(とびら、目次、本文、略歴、奥付)のデザイン一式を実習します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	制作
2	制作	19	最終チェック
3	制作	20	ブラッシュアップ
4	制作	21	ブラッシュアップ
5	制作	22	ブラッシュアップ
6	制作	23	プレゼンテーション
7	制作	24	講評会
8	カバーデザインラフ案		
9	制作		
10	制作		
11	制作		
12	本文デザイン		
13	制作		
14	制作		
15	カバーまわりデザイン試作チェック		
16	カバー・本文デザイン案		
17	制作		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1971年東京都生まれ。1994年創形美術学校グラフィックデザイン科卒業。1995年同校研究科修了。2002年ホクトデザインルーム設立。 企業や店舗のブランディング、グラフィックデザイン、WEBディレクションなどを中心に活動。豊島区のイベントプロデューサーも手掛ける。東京都中小企業支援専門家(デザインコンサルティング)			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3 年制)	2025年度	2年GD専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ポートフォリオB	上野仁志	3単位 63時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>ポートフォリオの授業では就職活動時に提出するポートフォリオの作り方を学びます。クリエイティブ業界の情報を学びながら、社会人になるための準備を始めます。</p>			
【講義概要】			
<p>自分のポートフォリオを制作し、プレゼンテーションを行ないます。また、就職についての講義を行ないます。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	1回目(講義:ポートフォリオについて)		
2	ポートフォリオチェック		
3	講義(面接・プレゼン)		
4	制作		
5	ポートフォリオチェック		
6	制作		
7	制作		
8	制作		
9	2回目(講義:クリエイティブの就職について)		
10	制作		
11	ポートフォリオチェック		
12	制作		
13	制作		
14	3回目(講義:クリエイティブの就職について)		
15	制作		
16	制作		
17	講評会		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義及び実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p>			
<p>1960生まれ。1980年立教大学経済学部経営学科中退。1984年東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。1986年同大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。株式会社博報堂入社。デザイナー、アートディレクター、を経てマネジメントディレクターとしてクリエイターの人材発掘と育成を担う。</p>			